

Voice

ボイス

横浜市会議員 [青葉区]

山下正人

2022年（令和4年）市政レポート



大学一年生の私がレポートします。
議会や委員会は、
実に摩訶不思議な世界でした。
市会議員のインターンを経験し、
政治を見る目が養われました。

横浜市会議員を疑似体験して見えたこと



横浜市会議員を疑似体験して見えたこと

▶ 2022年



20年後の私は39歳。 横浜市はどんな街になっている？

帝京大学法学部1年生の私は横浜市会の山下正人議員のインターン生として多くの本会議や委員会を傍聴しました。政治家がどのような活動しているのか。行政の横顔、市長との対峙現場を体験したリアルな密着取材記をぜひ一読ください。

【山下正人よりコメント】

選挙権を持った若者が政治・行政に少しでも関心を持てる様に、様々な場に行き交わりました。インターン生は2ヶ月間の横浜市会議員を擬似経験しました。

1. 市会議員に2カ月間密着同行して見えた疑問の数々!!

《その1》 特別委員会の答弁で原稿を棒読みしている議員が見受けられた点。

議員の質問は1人あたり10~25分程度のため原稿を用意することはあるものの、政治家としての思いが込められてない様に感じました。とても興味深い質問をする議員がいる一方、質問を通して何を变えたいのか?等の目的が見えず、形式的なやり取りが多いと感じました。

《その2》 運営委員会や理事会など、数分で終了する委員会が開催されている点。

これらの委員会は議事進行の確認などを行い、意見がなければ短時間で終了します。議会のルール上仕方がない様ですが、オンライン化などの簡素化や委員会そのものに対する見直しが行われているのか気になりました。



全体を通して、議会は形式主義です。また議場にいる政治家を選んでいるのは我々有権者です。政治家だけを批判するのではなく、選挙期間の一時的なパフォーマンスではなく、公約の実現可能性や、候補者が持つ価値観・将来展望など、日々の活動も含めてより多くの情報をもって判断する必要があると考えました。

【山下正人よりコメント】 生で一問一答スタイルの質疑を傍聴して、様々な議員がいると感じた様です。政治家の質問に熱量を感じられないと映ることは、政治家にとって致命傷です。私も心して活動せねば、と強く肝に銘じます。また、議会の形式主義は徐々に変えていますが、大学生には不十分と映った様です。オンライン参加に関しては、今年度から一部導入します。



2. 市長が変わって、横浜市は変わったか？

《所感》 市長は自分の言葉で喋っていない!?

予算に関する議論では、市長は用意された原稿を読むばかりで、政策を通してどのような横浜市を築きたいのか?自分の言葉で発信していないと感じました。脱炭素やデジタル化など、我々世代に影響が大きい政策が多いので市長の発信力が今まで以上に問われると思います。今後の市長の言葉に期待します。また、選挙公約が予算案に盛り込まれなかった事への対応も、「次期中期計画でお示しする」と発言されるだけで実現に疑問があります。



公約は市民との約束です。公約の実現が困難であれば、早めに市民に釈明し軌道修正した方が誠実に感じます。横浜市の将来を考えるとその方が賢明だと思いました。

【山下正人よりコメント】 予算編成権は市長の特権です。公約を予算案に盛り込まなかった事は市民の不信感を招くでしょう。また、市長の答弁は横浜市の正式見解なので原稿を読み上げる事は仕方がないとしても、政治家としての熱量を感じられないのは残念です。横浜の未来に希望が持てる姿を示して欲しいと願います。



3. 横浜市の予算の使われ方

《所感》 市長が掲げる歳出改革に矛盾有り!!

市長の公約を実現するには多額の税金が投入されます。一方で歳出改革を公言する市長は予算の継続性をどう考えるのか疑問です。市長の掲げる「well-being、誰もが幸せに住み続けられる街」には程遠いと感じました。また、特に気になった政策は敬老パスのIC化です。敬老パスは高齢者の外出支援が目的の福祉政策ですが、効果や持続性についての検討は乏しく、シルバー民主主義の象徴であると感じます。IC化により回収したデータからエビデンスに基づいた制度に変え、特定の世代が不平等を感じる社会にはして欲しくないです。



横浜市の事業は概ね継続事業が多いと感じました。私たちが家庭を築く20年後には2000億円の歳出超過になると聞くと、事業の大幅な見直しにこそ力を入れて欲しいと思います。そのため、我々市民も事業の効果を検証する決算に、より一層の関心と熱意を持って監視する必要があります。

【山下正人よりコメント】 我々は3つのゼロを含むバラマキ政策には疑問を持っていましたので、議会審議を通じて公約の不確実性が明らかにならなかったのは残念です。将来世代のために事業効果の検証は引き続き取り組みます。





山下正人のLINE 公式アカウントで情報発信します!



QRコードを
スマホのカメラで
読んでください

定期的に山下の活動や地元の情報等を発信して参ります。我々横浜市議員は青葉区の場合は勿論ですが、横浜市全体の政策形成にも大きく関与しております。住民代表として多くの方の声を聞かせて頂きたいと思っています。また、来年の統一地方選挙に向けて、よこはま自民党としても市民意見の募集を行ない、自民党マニフェスト「責任と約束」を作ります。横浜市 18 区全てに所属議員を抱えていますので、全区からの意見を反映できると考えます。青葉区の方も積極的にご意見を頂ければ幸いです。

編 集 後 記

毎年、春と夏に大学生インターンを迎え入れています。インターン生は行政職を希望する学生が多く、行政職員と直接対話することができる機会は貴重な体験となります。また、一市民として議会の裏表を傍聴する体験も有意義な機会になった事でしょう。山下正人事務所ではインターン生を受け入れる際に課題を与えています。それは「インターン終了時には政治家の目利きを会得する」事です。今後、有権者として様々な選挙で一票を投じる際に自分自身の中に基準を持って欲しいと思います。

今回の学生は横浜市民ということで、直近の市長選挙の結果と現実を目の当たりにして、政治家を選ぶ基準を明確に持った様です。昨年の市長選挙では公約の良し悪しよりも、ポスターに掲げた「コロナの専門家」

のキャッチコピーで当選したと感じた様です。実際に議場で見た“コロナの専門家”の姿に18歳の学生は言葉を失っていました。インターン活動の最終日には報告会を開催し、その中では、我々市議員に対しても辛辣な意見を述べていました。私自身も横浜の将来を担う若者に恥じない政治家であらねばならぬと意を強くした次第です。



▲インターン生の活動報告会の様子

・議会、委員会での発言録画を、ぜひご覧ください。

横浜市会インターネット中継 山下正人



横浜市議員 山下正人事務所

〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 5-1-5-210 電話 . 045-905-5006 FAX. 045-905-5009
E-mail : myoffice@m01.itscom.net <http://www.yamashitamasato.com>